

令和5年度いしかわ森林環境基金評価委員会 次第

日 時：令和5年11月30日（木）13時～15時45分
場 所：現地（金沢市下涌波町地区・金沢市山王町地区）
石川県庁11階1104会議室

1 現地視察

- (1) 放置竹林整備実施林【金沢市下涌波町地区】
- (2) 緩衝帯整備実施林 【金沢市山王町地区】

2 評価委員会 【県庁11階1104会議室】

- (1) 部長挨拶
- (2) 議事

議事1. 令和4年度の取組実績について

資料1

議事2. 令和5年度の取組状況について

資料2

令和5年度いしかわ森林環境基金評価委員会出席予定者名簿

日 時: 令和5年11月30日(木)13時~15時45分

場 所: 現地(金沢市下涌波地区、金沢市山王町地区)

石川県庁11階1104会議室

氏 名	役 職 等	出 欠 (11月30日時点)
おくの みやこ 奥 野 美彌子	みらい子育てネット石川県地域活動連絡協議会 会長	
こんどう やすため 近 藤 安 爲	石川県森林組合連合会 代表理事会長	
さかぐち しげる 坂 口 茂	輪島市長	代理出席 (廣岡農林水産課長)
たじり すみえ 田 尻 純 江	石川県建築士会 副会長	
たに だ まさ こ 谷 田 昌 子	石川県商工会女性部連合会副会長	
なかがわ かずなり 中 川 一 成	石川県町会区長会連合会 会長	
なかだ みちよ 中 田 実千世	石川県社会福祉協議会保育部会 保育士会会長	欠席
のきば ゆきこ 能木場 由紀子	石川県婦人団体協議会 会長	
ふあか きよゆき 普 赤 清 幸	石川県商工会議所連合会 専務理事	欠席
まなべ ともこ 眞 鍋 知 子	金沢大学 教授	欠席
まるやま としすけ 丸 山 利 輔	石川県立大学 参与	
やない せいじ 柳 井 清 治	石川県立大学 特任教授	
(委員12名中9名出席予定)		

(敬称略：五十音順)

令和5年度いしかわ森林環境基金評価委員会座席表

令和5年11月30日(木) 15:00~(予定)

県庁行政庁舎11階 1104会議室

たじり 田尻 委員	たにだ 谷田 委員	なかがわ 中川 委員	まるやま 丸山 委員	のきば 能木場 委員	やない 柳井 委員
こんどう 近藤 委員					さかぐち 坂口 委員
おくの 奥野 委員					(代理 廣岡課長)

入口

池田 担当課長	荒木 農林水産部次長	金子 農林水産部次長	竹沢 農林水産部長	石井 森林管理課長	井南 担当課長
------------	---------------	---------------	--------------	--------------	------------

林業 試験場	林業 試験場	南加賀 農林	石川 農林	県央 農林	疋田 課参事	中島 課長補佐	棚部 課長補佐	高橋 課長補佐
-----------	-----------	-----------	----------	----------	-----------	------------	------------	------------

森林管理課	中能登 農林	奥能登 農林	税務課	都市 計画課	自然 環境課
-------	-----------	-----------	-----	-----------	-----------

記席席

いしかわ森林環境基金評価委員会 設置要綱

(設置目的)

第1条 いしかわ森林環境基金条例（石川県条例第41号）第1条に定める「いしかわ森林環境基金」（以下「基金」という。）を財源とした事業の成果を検証・評価するとともに、事業の継続や見直しの必要性について検討するため、「いしかわ森林環境基金評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、もって、同事業の透明性の確保と県民の理解増進にも資する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次の事項について検討する。
(1) 事業実績及び事業成果等の検証・評価に関すること
(2) 事業の継続や見直しの必要性に関すること
(3) その他事業の推進に関すること

(組織)

第3条 委員会の委員は、市町長及び学識経験者、経済、社会教育、県民・消費、農林水産関係団体の有識者からなるものとし、別紙のとおりとする。
2 委員会に委員長を置くものとし、委員の互選により選出する。
3 委員長は、会務を総理し、委員を代表する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
2 委員の再任は、妨げない。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長は委員長があたる。
2 委員長に事故があるときは、委員長が指名する委員がこれを代行する。
3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。
4 委員会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
5 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の時は、委員長の決するところとする。

(議事内容の公表)

第6条 委員会は、原則として公開により実施し、議事内容は、議事要旨により公表する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、石川県農林水産部森林管理課において行うものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は委員会で定めるものとする。

附則

この要綱は、平成20年6月9日から施行する。
一部改正 平成24年4月2日

いしかわ森林環境基金事業の 令和4年度の実績

いしかわ森林環境基金事業(R4年度実績)

I 森林整備

○ 森林整備		429,236 千円
・放置竹林の除去等	100ha	
・緩衝帯整備	22地区	
・モニタリング調査等	1式	

II 県産材利用促進

○ いしかわの森で作る住宅推進事業		42,670千円
・県産材を使った住宅等の新築・増改築・購入への助成		
○ いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業		35,725千円
・県産材使用の模範となる民間施設への助成		
○ いしかわの木づくり運動推進事業		5,995千円
・県産材の利用促進に向けた機運醸成		

III 普及啓発

○ 森林や木材利用に対する理解の増進		20,902千円
・普及啓発や情報提供の実施 等		
○ 県民参加の森づくりの推進		12,840千円
・県民森づくり大会等の開催や子ども達が参加する森林体験活動への支援 等		

547,368千円

税 407,668千円

国庫 139,700千円

I 森林整備

(i) 放置竹林の除去

(ii) 里山における緩衝帯整備

(i) 放置竹林の除去

近年の豪雨の増加を踏まえて、放置竹林に起因する山腹崩壊などを防ぐため、集落周辺と水源域のうち集落に近い放置竹林を重点的に除去(事業主体:県)

- 整備計画 ●第4期(R4~R8)の計画: 550ha
(集落周辺を優先し、地区の同意が得られた箇所から順次実施)
- 併せて、広葉樹の植栽と、除去後2年間の再生竹の刈払いを計画

■第3期及び令和4年度の実績

(単位: ha)

項目		第3期(H29~R3)						第4期
		H29	H30	R1	R2	R3	計	R4
放置竹林の除去	計画	120	120	120	120	120	600	110
	実績	121	124	77	101	180	603	100
植栽	実績	19	19	23	101	180	342	100
再生竹の刈払	実績	206	213	246	240	247	1,152	250

※各年度の計画数量は当該計画期間の目標を単純平均したもの

〈放置竹林の除去の実施状況(加賀市黒瀬町甲 地内)〉



(ii) 里山における緩衝帯整備

野生獣の出没に対して、野生獣と人里との距離を保つ(バッファゾーンを設ける)ことを目的に、過密化した里山林において森林の見通しを良くするための立木竹の伐採や刈払い等の整備を実施(事業主体:市町)

- 整備計画
 - ・第4期(R4~R8)の計画: 80地区
 - (過去3年間に野生獣の出没回数が多かった地区の中から、各地区の要望等を踏まえて選定)

■第3期及び令和4年度の実績

項目		第3期(H29~R3)					計	第4期
		H29	H30	R1	R2	R3		R4
緩衝帯の整備	計画	10地区	10地区	10地区	10地区	10地区	50地区	16地区
	実績	12地区	10地区	10地区	12地区	10地区	54地区	22地区

※各年度の計画数量は当該計画期間の目標を単純平均したもの

〈緩衝帯整備の実施状況(金沢市山王町2丁目地区)〉



Ⅱ 県産材利用促進

(i) いしかわの森で作る住宅推進事業

(ii) いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業

(iii) いしかわの木づかい運動推進事業

(i) 拡 いしかわの森で作る住宅推進事業(R4の取組)

令和4年度には助成件数、県産材使用量ともに過去最大の実績

令和4年度から5～7³m³未満の助成枠を設けるなど、助成要件を拡充



■助成実績

区分	第4期	
	R4	
	助成件数	県産材使用量
5～7 ³ m ³ 未満	22件	134 ³ m ³
7～15 ³ m ³ 未満	133件	1,307 ³ m ³
15～20 ³ m ³ 未満	30件	513 ³ m ³
20 ³ m ³ 以上	34件	808 ³ m ³
25 ³ m ³ 以上かつ 県産材使用率90%以上	21件	742 ³ m ³
外構部	24件	21 ³ m ³
計	264件	3,525 ³ m ³

(ii) **新** いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業(R4の取組)

民間施設における県産材利用について、啓発段階から普及拡大段階へと取組を進めるため、
 県産材使用率などの一定の要件を満たす民間施設を助成

※県産材使用部分の材料費、工事費の1/2を上限に支援(CLT等の新部材の使用場合、材料費の3/4、工事費の1/2)

【令和4年度助成施設】



カフェ



営業所兼製品展示場



メンタルケア施設



コワーキングスペース



事務所



事務所



工場



事務所兼飲食店



保育園



クリニック

■助成実績

区分	第4期 R4
件数	14件
県産材使用量	425m ³



集合住宅



集出荷作業場兼事務所



クリニック



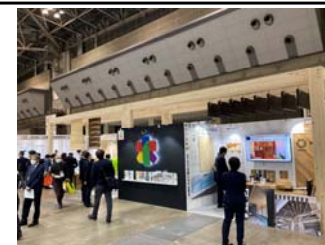
飲食店

(iii) いしかわの木づかい運動推進事業(R1~)

県産材利用の機運醸成に向け、県産材の認知度向上に向けた取組や、県産材の利用拡大における功績のあった者を表彰する取り組み等を実施

■Japan Home & Building Showを活用した県産材製品のPR

住まいに関する建材・部材・設備・サービスが一堂に会する日本最大級の専門展示会



令和4年度展示会

■いしかわの木づかい表彰

県産材利用部門		第3期				第4期
		R1	R2	R3	計	R4
(1) 住宅部門	①県産材の需要拡大に貢献した者	3者	3者	3者	9者	3者
	②他の模範となる住宅	1者	1者	1者	3者	1者
(2)施設部門		2者	2者	2者	6者	2者
(3)製品部門		1者	1者	1者	3者	1者

【令和4年度表彰物件】



(1)県産材利用住宅部門
二世帯の大屋根の家(金沢市)



(2)県産材利用施設部門
七尾城登山口駐車場休憩案内所
(七尾市)



1/3ハンバーガーファクトリー
(金沢市)



(3)県産材利用製品部門
あすなろの楕円桶(輪島市)

Ⅲ 普及啓発

(i) 森林や木材利用に対する理解の増進

(ii) 県民参加の森づくりの推進

■事業内容一覧

(i) 森林や木材利用に対する理解の増進

事業名等	事業概要
いしかわ森林環境評価委員会	税の用途説明及び検証のため、第3者からなる評価委員会を開催(委員12名)
いしかわの森づくり普及広報推進事業	新聞広告、チラシ・パンフの作成・配布や、イベント、のぼり旗、成果を紹介する映像や広報誌等による普及広報
いしかわ森林環境功労者表彰	県内での森づくり活動に顕著な功績のあった団体・企業・個人を表彰
森林への理解を育む木育推進事業	保育施設等を対象に、子どもたちへ木の大切さを伝える、遊びと学びを組み合わせた出前講座を開催
里山子ども園推進事業	里山を活用したもりの保育園のモデルプログラムの企画実施、保育士等の体験会実施
いしかわ森林環境実感ツアー	県民や小学生などを対象とした、川上(間伐の現場)から川下(木造公共建築物)までを見学するバスツアーの開催
いしかわ景観キッズプログラム	小学生を対象に、里山景観に関心を抱き、大切さを学習する体験教室を開催
木に親しむまちづくり推進事業	建築士等を対象に、新たな建築資材(CLT等)や最新の木造建築に関する工法、県産材活用例等を紹介する講習会を開催

○ いしかわ森林環境実感ツアー(H19~)

県民や小学生などを対象に、手入れ不足人工林やその整備状況等の現地を見学するバスツアーを開催

※R2~4は新型コロナウイルス感染症の影響により不特定多数が参加する県民向けは中止

〈森林環境実感ツアー(こども向け)〉(H24~)

区分	第3期(H29~R3)						第4期
	H29	H30	R1	R2	R3	計	R4
参加人数	278	747	380	176	495	2,076	257
参加校数	9	10	6	4	11	40	7

R4参加校(人)	
加賀市立動橋小学校	27
加賀市立河南小学校	26
白山市立旭丘小学校	50
内灘町立向栗崎小学校	43
内灘町立西荒屋小学校	15
津幡町立津幡小学校	71
かほく市立金津小学校	25
合計 7校	257

こども向けは公募により参加校を決定



侵入竹整備地の見学



県木アテ植栽地



間伐作業の見学



木材加工工場の見学

(ii) 県民参加の森づくりの推進

事業名等	事業概要
いしかわの森づくり推進月間事業及び県産材利用推進月間事業	毎年10月の推進月間において、県民が参加する森づくりイベントを開催
こども森の恵み推進事業	次世代を担う子供達を対象とした森林環境教育や体験活動を実施するNPO等への支援
森づくりボランティア推進事業	里山等の森づくり活動を自主的に実施するNPO等への支援
いしかわ身近な森保全事業	里山林等において地域住民等と協働して行う森林整備や木材等の利用活動への支援
フォレストサポーターによる森づくり推進事業	フォレストサポーターを育成するための講習の実施
企業の森づくり推進事業	企業による森づくりを推進するためのフィールドマップの作成や企業に対する説明会、現地見学会などの開催
いしかわの森整備活動CO2吸収量認証事業	企業等が実施した森づくり活動に対するCO2吸収証書の発行

○ こども森の恵み推進事業(H19~)

子ども達を対象に森林環境教育や森林体験活動を行う
NPO団体等を支援

区分	第3期(H29~R3)						第4期
	H29	H30	R1	R2	R3	計	R4
団体数	17	18	18	12	18	83	18
参加人数	4,518	6,112	7,265	2,685	2,789	23,369	3,202



森林環境教育



植樹体験

○ いしかわの森づくり推進月間事業及び県産材利用推進月間事業(H19~)

毎年10月を「いしかわの森づくり推進月間及び県産材利用推進月間」と定め、県下全域で県民森づくり大会を開催

区分	第3期(H29~R3)						第4期
	H29	H30	R1	R2	R3	計	R4
地区数	5	6	5	3	4	23	5
参加人数	413	1,482	289	121	116	2,421	231

※新型コロナウイルス感染症のためR2,3は規模縮小



植樹

R4 開催日	開催テーマ	大会内容	参加数
10/ 2(日)	木材利用の意義を学ぶ(津幡町)	木工体験	37
10/ 8(土)	小舞子海岸の森づくり(白山市)	ベンチ作製、下刈り	81
10/22(土)	火打谷 苗木の里の森づくり(志賀町)	看板等設置、苗畑整備	42
10/26(水)	木を使い森を育てて郷土の森を守ろう(小松市)	ベンチ作製、下刈り	26
10/28(木)	能登の里山 広葉樹の森づくり(輪島市)	広葉樹(コナラ)植栽	45
計	5地区		231



県産材ベンチ設置

(参考) 第3期及び令和4年度の事業実績

(単位:百万円)

区分		第3期(H29~R3)						第4期
		H29	H30	R1	R2	R3	計	R4
事業費	強度間伐※1	157	153	-	-	-	310	-
	放置竹林除去等※2	300	317	287	453	378	1,735	392
	緩衝帯整備	20	22	26	28	25	121	37
	県産材利用促進対策	-	-	74	69	77	220	84
	普及啓発※3	31	34	35	34	34	168	34
	計	507	526	422	584	514	2,553	547
財源内訳	森林環境税充当額	360	383	378	374	382	1,877	408
	国庫補助金	147	143	44	210	132	676	139
	計	507	526	422	584	514	2,553	547

※1 手入れ不足人工林の強度間伐

※2 放置竹林の除去、再生竹の刈払、植栽

※3 県民の理解増進と県民参加による森づくり

※四捨五入の関係により計は一致しない

いしかわ森林環境基金事業の 令和5年度の実施状況

I 森林整備

(i) 放置竹林の除去

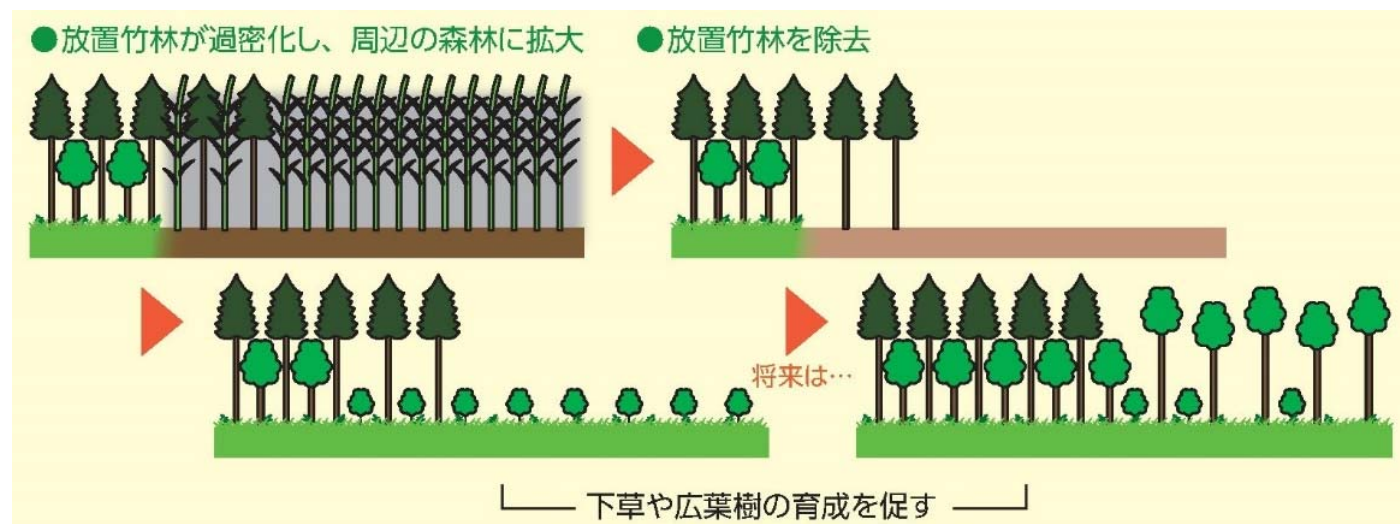
近年の豪雨の増加を踏まえて、放置竹林に起因する山腹崩壊などを防ぐため、集落周辺と水源域のうち集落に近い放置竹林を重点的に除去している。(事業主体:県)

第4期(R4~R8)の計画: 550ha

(集落周辺を優先し、地区の同意が得られた箇所から順次実施)

令和5年度

項目	計画面積
放置竹林の除去	110ha



(ii) 里山における緩衝帯整備

野生獣の出没に対して、野生獣と人里との距離を保つ(バッファゾーンを設ける)ことを目的に、過密化した里山林において森林の見通しを良くするための立木竹の伐採や刈払い等の整備を実施している。(事業主体:市町)

第4期(R4~R8)の計画: 80地区

(過去3年間に野生獣の出没回数が多かった地区の中から、各地区の要望等を踏まえて選定)

令和5年度

項目	計画
緩衝帯整備	16地区



集落周辺のヤブ化した里山林が野生獣の通り道や隠れ場所となり、人間の生活領域に出没しやすい状況(人と野生獣の出会い頭の事故が起きやすい)



集落周辺の里山林で、集落沿いに間伐やヤブの刈払いをすることで見通しを良くし、野生獣の生息域との境界を形成する

II 県産材利用促進

県産材の需要を拡大させることで、森林の適切な手入れを進め、森林を健全な状態に維持。

(i) いしかわの森で作る住宅推進事業

県産材を使った住宅等を新築・増改築・購入する方への助成により、住宅分野における県産材需要を拡大

R4～助成要件を拡充



(ii) いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業

県産材使用率などの助成要件を満たした民間施設について、県産材使用に係る経費の一部を助成することにより、住宅以外の建築物における県産材の需要を拡大

R4～モデルから普及へ

(iii) いしかわの木づくり運動推進事業

県産材の認知度向上に向けた取組や、県産材の利用拡大に功績のあった者の表彰などにより、県産材利用の機運を醸成

Ⅲ 普及啓発

事業一覧(令和5年度)

区分	事業名等		事業概要	
森林や木材利用に対する理解の増進	1	いしかわ森林環境評価委員会	税の検証及び評価のため第三者からなる評価委員会を開催	
	2	いしかわの森づくり普及広報推進事業	新聞広告、チラシ・パンフの配布や、広報誌等による普及広報	
	3	いしかわ森林環境功労者表彰	森づくり活動に顕著な功績のあった団体・企業・個人を表彰	
	4	いしかわ森育・木育推進事業	森林への理解を育む木育推進事業	保育施設を対象に、木育の出前講座を実施
			里山子ども園推進事業	保育施設を対象に、里山を活用した「もりの保育園」モデルプログラムの体験会等を実施
	5	いしかわ森林環境・里山景観実感ツアー	いしかわ森林環境実感ツアー	県民や小学生などを対象とした、川上(間伐の現場)から川下(木造公共建築物)までを見学するバスツアーの開催
いしかわ景観キッズプログラムの開催			小学生を対象に、里山景観について学習する体験教室を実施	
6	木に親しむまちづくり推進事業		建築士等を対象に、最新の木造建築の工法等の講習会を開催	
県民参加の森づくりの推進	7	いしかわの森づくり推進月間事業及び県産材利用推進月間事業		毎年10月の推進月間において、県民が参加する森づくり・木づかいイベントを開催
	8	いしかわ県民参加の森づくり推進事業	こども森の恵み推進事業	こども達を対象とした森林環境教育を実施するNPO等への支援
			森づくりボランティア推進事業	森づくり等のボランティア活動を実施するNPO等への支援
			いしかわ身近な森保全事業	住民との協働により、地域の里山林の整備や利用活動を行う地域団体等への支援
			フォレストサポーターによる森づくり推進事業	フォレストサポーターを育成するための講習の実施
9	企業の森づくり推進事業	企業の森づくり推進事業	企業等を対象に、森づくり活動の説明会や現地見学会を開催	
		いしかわの森整備活動CO2吸収量認証事業	企業等が実施した森づくり活動に対するCO2吸収証書の発行	

いしかわ森林環境基金事業(R5年度当初予算)

I 森林整備

○ 森林整備	340,200千円
・放置竹林の除去等	110ha
・緩衝帯整備	16地区
・モニタリング調査等	1式

II 県産材利用促進

○ いしかわの森で作る住宅推進事業	40,000千円
・県産材を使った住宅等の新築・増改築・購入への助成	
○ いしかわの木を活かす民間施設普及拡大事業	40,000千円
・県産材使用の模範となる民間施設への助成	
○ いしかわの木づかい運動推進事業	6,000千円
・県産材の利用促進に向けた機運醸成	

III 普及啓発

○ 森林や木材利用に対する理解の増進	20,920千円
・普及啓発や情報提供の実施 等	
○ 県民参加の森づくりの推進	15,490千円
・県民森づくり大会等の開催や子ども達が参加する森林体験活動への支援 等	

462,610千円

税 394,610千円

国庫 68,000千円